

科目名	政策評価演習D	
担当者	塚本壽雄	
配当学期	秋学期	
単位	2単位	
授業概要	<p>受講生の研究計画の達成（修士論文の作成）に向けて必要な指導を行う。受講生は各クールにおいて一つのレポートを完成させることにより研究計画を進行させる。</p> <p>受講生がレポート作成を進めるに当たり、各回での受講生の報告に対して、塚本が政策評価を中心とした行政実務に関する知見をもとに必要な助言を行い、また、演習に参加する受講生も含めて、共に考察を深めることにより、研究成果の発現に資する。</p>	
授業の到達目標	公共経営修士（専門職）にふさわしい論文作成能力を涵養する。	
授業計画	<p>各クールは以下のように進める（参加人数による調整あり）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クール開始に先立ち、受講生からその研究計画に基づき当該クールにおいてレポート作成したいテーマをプロフィールペーパーの手続により塚本にメール提出。（アドレス：eval@cls.waseda.jp） 2. 演習第1回：テーマの説明及びレポートに織り込む課題の設定 3. 演習第2回：レポートの骨格提出・説明・討議 4. 演習第3回：レポート素案提出・説明・討議 5. 演習第4回：レポート最終案提出・説明・コメント 6. 評価（プロフィールペーパーに記載し返送） <p>受講生は各回、他の参加者用のコピーを用意すること。</p> <p>テーマの規模等に応じ、2～3クールを通じて一つのレポートを作成することも認める。</p>	
教科書	なし	
参考文献	<p>小笠原喜康『新版大学生のためのレポート・論文作成術』（講談社現代新書、2009）</p> <p>公共経営研究科 HP「修士論文形式について」</p>	
成績評価方法		評価基準
	試験 %	
	レポート %	

	平常点評価 %	
	その他 %	
関連 URL		
備考	<p>演習時間については、受講生の事情に応じて、クールを通じあるいは各回につき時間割と異なる曜日・時間を個別に設定できる場合があるので、申し出られたい。</p> <p>これまで論文作成経験のない者は最低限、小笠原喜康『新版大学生のためのレポート・論文作成術』（講談社現代新書、2009）を読んでおくこと。また、演習でのレポートについては、公共経営研究科 HP「修士論文形式について」に準拠して作成することが望ましい。</p> <p>以上を含め、本科目につき不明の点等あれば、遠慮なく塚本の演習用アドレス (eval@cls.waseda.jp) にメールで照会されたい。</p>	